

令和7年3月

一般社団法人大阪臨床整形外科医会理事会 資料本体

日時：令和7年3月1日（土）15：00～18：00

場所：ハービスENT9階 会議室（第1・2・3号室）

出席者 34名（敬称略）

<会長> 貴島 浩二 <副会長> 白木 隆士 木下 裕介 堀口 泰輔 河崎美也子 宮崎 浩

<理事> 明石 健一 榎本 誠 大窪 博 片岡英一郎 岸本 英樹 小坂 理也 清水 広太

史 賢林 神藤 佳孝 調子 和則 中川 浩彰 中野 晋吾 橋本 和喜 濱田 泰彦

藤本 啓治 邊見 俊一 増田 博 水沢 慶一 宮口 正継 宮田 重樹 山口 眞一

吉田 清志 吉村 弘治 和田 孝彦 <特別出席者> 無し

<監事> 黒田 晃司 栗本 一孝 <オブザーバー> 右近 良治 山本 哲

定刻になり出席者数が定数を満たすことを確認し、令和7年3月理事会が開始された。

[協議事項]

1、令和6年9月O C O A理事会議事録承認

中野 理事

令和6年9月O C O A理事会議事録(案)が提示され、承認された。

2、研修会実施予定

宮崎 理事

第375回大阪臨床整形外科医会研修会

（令和7年4月19日 現地会場：梅田スカイビル タワーウエスト36階）共催 大正製薬

受付 山本善哉 先生 竹口輝彦 先生 司会 岸本英樹 先生

講演Ⅰ：「関節破壊抑制を目指したTNF阻害薬の長期戦略：有効性と安全性の両立を探る」

座長：史 賢林 先生

講師：近畿大学病院 血液膠原病内科 准教授 リウマチセンター長 野崎祐史 先生

講演Ⅱ：「変形性膝関節症の治療戦略 ～個々のニーズ・膝に合わせた治療法～」

座長 山本 哲 先生 講師：近畿大学病院 整形外科 医学部講師 山岸孝太郎 先生

第376回大阪臨床整形外科医会研修会

（令和7年5月10日 現地会場：梅田スカイビル タワーイースト33階）共催 エーザイ

受付 榎本 誠 先生 宮崎 浩 先生 司会 吉田清志 先生

講演Ⅰ：「関節リウマチの鑑別診断と最新薬物治療」 座長：吉川尚孝 先生

講師：奈良県立医科大学 リウマチセンター 学内講師 原 良太先生

講演Ⅱ：「変形性股関節症に対する低侵襲治療の現状」 座長 和田孝彦 先生

講師：藤田医科大学医学部 整形外科機能再建学 臨床教授 金治有彦 先生

第377回大阪臨床整形外科医会研修会（令和7年8月23日 現地会場：未定）共催 旭化成ファーマ

受付 山口眞一 先生 中谷晃之 先生 司会 三木良久 先生

講演Ⅰ：「未定」 座長：神藤佳孝 先生

講師：（医）榎本会 榎本病院 骨粗しょう症・リウマチセンター長、疾病予防教育センター長
橋本 淳 先生

講演Ⅱ 演題名：「未定」 座長 宮田重樹 先生 講師：未定

第378回大阪臨床整形外科医会研修会（令和7年9月27日 現地会場：未定） 共催 第一三共

受付 片岡英一郎 先生 山本善哉 先生 司会 濱田泰彦 先生

講演Ⅰ：「未定」 座長：邊見俊一 先生 講演Ⅱ：「未定」 座長：宮口正継 先生

第379回大阪臨床整形外科医会研修会（令和7年10月18日 現地会場：未定） 共催 帝人ヘルスケア

受付 岸本成人 先生 大窪 博 先生 司会 水沢慶一 先生

講演Ⅰ：「未定」 座長：重栖 孝 先生 講演Ⅱ：「未定」 座長：中塚映政 先生

第380回大阪臨床整形外科医会研修会（令和7年11月15日 現地会場：未定） 共催 久光製薬

受付 中野晋吾 先生 河崎美也子 先生 司会 越宗 勝 先生

講演Ⅰ：「未定」 座長：調子和則 先生 講演Ⅱ：「未定」 座長：村上仁志 先生

以上、了承された。

3、新規入会

白木 副会長

河上剛先生（東成区）、右近亮介先生（東大阪市）の新入会が 承認された。

4、令和6年度予算決算比較表

堀口 副会長

会計報告として、令和7年1月31日現在の貸借対照表、正味財産増減計画書、附属明細書、財産目録が堀口副会長より説明され、黒田、栗本、前中監事3名の会計監査を受けたことが報告された。

令和6年度収支決算が承認された。

5、令和7年度 予算案

堀口 副会長

予算案として正味財産増減計画書、貸借対照表、附属明細書、財産目録が堀口副会長より説明された。令和7年度も令和6年度と同様、会費収入による安定的運営が期待される。令和7年度は研修会開催の減少による参加費収入の減収が見込まれるが、新たに企画している産業医研修会及びロコモ健康フォーラム広告収入による増収を予定している。支出では、JOA100周年プロジェクトに対する予算を計上していることが報告された。

令和7年度予算案は承認された。

6、療法士会 事業報告・計画 収支 予算案

木下副会長

1. 療法士会の目的

- ① 大阪臨床整形外科医会療法士会会員の相互の親睦と会員施設間の交流
- ② 知識・技術の向上を図り、質の高い運動器リハビリテーションを提供する。

2. 令和7年2月末時点での会員数 57名（27施設） *令和6年度 入会5名、退会19名、年会費納入57名

3. 令和6年度活動実績：対面4回、オンライン1回 参加者計65名（会員42名、非会員23名）

第69回勉強会 令和6年5月19日（日） 会場：妻鹿整形外科

テーマ：『外来リハでの肩関節疾患の診かた』 講師：福田孝治（妻鹿整形外科理学療法士）

講師：福田孝治（妻鹿整形外科理学療法士） 参加者10名（会員6名、非会員4名）

第70回勉強会 令和6年7月7日（日） 会場：貸し会議室梅田

テーマ：『プロサッカー選手から見たリハビリテーション』

講師：斎藤 未月（ヴィッセル神戸 プロサッカー選手） 参加者20名（会員17名、非会員3名）

第71回勉強会 令和6年9月7日（土） オンライン開催

テーマ：「整形外科クリニックの情報交換会」

司会：療法士会役員 参加者：8名（会員8名、非会員0名）

第72回勉強会 令和6年12月8日（日） 会場：こみ整形外科

テーマ：『外来リハでの橈骨遠位端骨折の診かた』

講師：柳川 明義（啜生会脳神経外科病院 作業療法士） 参加者14名（会員6名、非会員8名）

第73回勉強会 令和7年1月26日（日） 会場：こみ整形外科

テーマ：『歩行における骨盤・胸郭・股関節の回旋と呼吸の関係』

講師：鈴木 真理（High Performance Institute 理学療法士） 参加者13名（会員5名、非会員8名）

第74回勉強会（予定）令和7年3月15日（土） 会場：くわ整形外科

テーマ：『（仮）腰痛と骨格アライメントの関係について』

講師：山本 敏博（くわ整形外科 理学療法士）

令和7年度事業方針・事業計画

【令和7年度事業方針案】

大阪臨床整形外科医会会員の施設で勤務する療法士を中心に、相互の親睦を深めるとともに知識・技術の向上に努め、質の高い運動器リハビリテーションの提供とその発展・普及を目指す。

【令和7年度事業計画案】

『診療所・クリニックで必要な臨床技術』をテーマに勉強会5回（対面・WEB）を開催する。

- ・ OCOA医師会員とセラピストが共に学べ、交流できる場（情報交換会など）を設ける。
- ・ 療法士会の認知度を向上し新規入会につなげる。会員施設間での親睦を深め運営役員の充足を図る。
- ・ SNSの活用（公式LINE開設・ピティクス・インスタグラム）し、情報提供の充実を図る。
- ・ 養成校との関係を強化する。養成校教員との連携を強化し、勉強会の充実やOCOA会員施設へ卒業生の入職につなげる。養成校教員に講師を依頼し、学生参加可の勉強会を開催する。（5回中1回）

【年会費】 年会費として1,000円徴収。 *2年間未納の場合、自動退会。（今年度納入率100%）

【その他】（役員会で出た意見、今後検討していくもの）

- ・ OCOAの医師との交流（2019年リハビリテーション研修会終了後、意見交換の場が無い）。
* 情報交換会（ZOOMで1時間程度、5回中1回）にOCOA医師の参加を促し意見交換を行う。
- ・ 勉強会の案内について、案内時期を現行の1ヶ月前⇒1ヶ半月前に変更する（第75回勉強会から適用）
SNS活用に加え、従来通り郵送案内を継続（紙案内QRコードからの参加比率が多いため）

以上が報告され承認された。療法士会の活性化のため勉強会に多くの医師の参加が望まれるとの意見があり、今後、療法士が参加できる講演会の開催について学術委員会で検討することを確認。

7. 2025 ロコモ健康フォーラムについて

木下 副会長

日時：令和7年7月6日（日）13：00～ 会場：松原市文化会館

講演：1.「年をとれば、糖尿病管理もフレイル・ロコモ対策」大阪ろうさい病院 総長 楽木 宏美 先生

2.「お口の中から健康を」 松原市歯科医師会 理事 芝野 雄一 先生

3.「宮田・木下ロコトレ教室」 宮田重樹（宮田医院院長） 木下裕介（木下整形外科医院）

協賛：メディファイン <https://medifine.jp/product> （介護・医療食品の会社）

開催内容とメディファインの協賛が、承認された。

8. 日整会 100周年事業 市民公開講座について

木下 副会長

日時：令和8年11月29日（日） 会場：エクセラオンホール（予定）

広告：産経新聞 朝刊全15段カラー（1面） 運営：産経新聞開発

講師：未知やすえ さん

開催の詳細と予算案が提示され、承認された。

9. 令和7年度第1回 OCOA 産業医研修会

宮崎 副会長

名称：第1回大阪臨床整形外科医会（OCOA）産業医研修会

日時：令和8年（2026）年1月31日（土）午後3時～午後5時

会場：大阪府医師協同組合会議室 8階大ホール

開催の詳細、予算案が提示され、研修会立ち上げの経緯が説明され、承認された。

10. その他

貴島 会長

[報告事項]

1. 会員動態

白木 副会長

前回理事会 令和6年12月7日（正会員467名）以降 新入会 2名（内正会員2名）

右近 亮介 先生 令和7年4月1日入会予定

河上 剛 先生 令和7年4月1日入会予定

前回理事会 令和6年12/7 以降 退会 0名

令和7年4月1日現在 正会員 469名

特別会員 6名（うち3名がJCOA名誉会員） 森本清一先生が一般会員から移動予定で1名増。

顧問（現役教授）6名

大阪公立大学の中村先生は、病院院長へ。新しく寺井秀富先生が整形外科教授に就任。

特別顧問 1名 茂松 日医副会長（正会員に含む）

名誉会員（元教授等） 9名（田中清介先生ご逝去。越智隆弘先生ご逝去。山野慶樹先生ご逝去）

（大阪公立大病院長中村先生、赤木将男先生、根尾昌志先生の3名が 令和7年の総会で就任予定）

合計 490名（JCOA名誉会員が計6名）

JCOA正会員は 468名：OCOA正会員 468名－1（行方不明で令和6年11月18日にJCOAのみ退会届

提出) + OCOA 特別会員 6 名 = 473 名 から JCOA 名誉会員 6 名 を除いた

2、第 1 回 OCOA 50 周年記念式典祝賀会準備委員会 12/23 WEB 増田 理事

(参加) 貴島 白木 木下 堀口 河崎 宮崎 神藤 宮田 大窪 山本 吉田 増田 (欠席) 明石 三木

OCO A50 周年記念式典祝賀会 概要

- ・日時 2026 年 11 月 28 日 (土) リッツカールトン大阪 参加人数 250 人目標(10 年前は 188 人)
- ・今回は特別講演の 1 題(山中伸弥先生)のみ、11 月研修会(久光製薬)は他月に回すことも考える。
- ・15:00 準備、16:00 講演会、17:15 記念式典、18:30 宴会 くらいで予定
- ・記念講演会・記念式典の司会は若手の理事で、記念講演会の謝辞・座長 増田理事
- ・記念式典の開会宣言 閉会宣言 記念式典の開会宣言 閉会の辞 会長、副会長で
- ・来賓祝辞 JCOA 長谷川会長、大阪府医師会長、医会代表
- ・招待客 JCOA 関係 (会長 1 名のみと近畿 COA 代表)
大阪府医師会関係 大阪府の各医会の代表 各大学の教授
- ・OCO A50 周年の歩み (内容は広報担当の調子先生と相談 発表は? 記念誌作成はできるだけ安く)
- ・式典の中の功労者表彰は できるだけ簡単に
(ホテルとの 打ち合わせに 1 月に白木先生 大窪先生 増田 + α で行く予定)

3、令和 6 年度第 5 回 JCOA 理事会及び整形外科医政協議会執行委員会

12/16・東京 神藤 理事

【審議事項】

- ・第 98 回日整会学術総会シンポジウム演題発表に伴うアンケートの実施について(神藤)
シンポジウム: 整形外科医師の人生設計 若手医師への提言
～開業医の立場から、若手医師への提言～、に関する発表を行うにあたって、会員に開業の経緯や現在の状況に関するウェブアンケート調査を実施の承認を求める件に関しては、承認された。
- ・第 38 回 JCOA 学術集会(三重)への招待について(片山)
日台交流に尽力された台湾大学教授、中華民国骨科医学会理事長を歴任された劉華昌先生を招待。

【各種報告事項】

- ・令和 6 年度日整会名誉会員、功労賞への推薦について(寺門)
名誉会員: 三宅 信昌(静岡) 原田 昭(広島) 功労賞: 喜久生明男(岐阜) 鈴木 潔(愛知)
- ・キシロカイン注射剤の安定供給に関する要望書について(長谷川)
厚労省医政局長に対して、日本眼科医会・日本臨床耳鼻科医会・日本臨床整形外科学会・日本臨床皮膚科医会の連名でキシロカイン注射剤の安定供給に関する要望書が提出された。
- ・日整会 100 年記念「全国市民公開講座」について(長谷川)
JCOA 長谷川利雄理事長名で、日本整形外科学会 100 年記念「全国市民公開講座」へのご協力をお願いが「各県」臨床整形外科医会等会長、JCOA 各県代表者に発出された。
- ・2024 年中華民国骨科医学会学術集会参加報告(令和 6 年 10 月 26・27 日)(片山)
台北マリオットホテルで開催され日本側 16 名が参加した。長谷川利雄理事長は、特別講演(Keynote Speech)12 名枠の講演者として招かれ「The History and Establishment of the JCOA」を英語で講演。

4、令和6年度第6回JCOA理事会及び整形外科医政協議会執行委員会

2/16・東京 神藤 理事

【審議事項】

- ・令和7年度定時社員総会の議案について（長谷川）
日 時:令和7年6月1日(日)12:30~13:30 場 所:品川プリンスホテル メインタワー
第1号議案 名誉会員の承認について、第6号議案 役員選挙規則の変更について、など
- ・JCOA 災害医療チームの活動基本原則及び派遣の概要について（神藤）
(附則) 基本原則を遵守することが望ましいが、正当な理由があると認められる状況下では、例外を認めることがある。(避難所支援やDVT検診業務など、理事長が了承をした場合に限り)
- ・JCOA ニュース「医事紛争事例に学ぶ」のアーカイブ化について（大越）
JCOA ホームページで会員が表題又はキーワードを選択すると、医事紛争事例を閲覧できる。

【各種報告事項】

- ・論文「ロコモコーディネーターのロコトレ指導による介護度進行抑止効果」について（照屋）
JCOA が令和6年度診療報酬改定に向けて初めて要望した「ロコモ・フレイル指導管理料」について、厚生労働省から「ロコモ・フレイル予防介入により要支援・要介護状態の改善が望めるエビデンス」の提出を求められた。これを受けたJCOAからの依頼により、SLOCでは過去に検証した二度の追跡研究結果をもとに再度「ロコモコーディネーター指導下のロコトレによる介護度の進行抑止効果」と題し一括として論文化、雑誌「運動器リハビリテーション(日本運動器科学会誌)」にpublish(原著)された。
- ・第10回日韓臨床整形外科合同研究会の延期について（片山）
- ・脊柱の検査等に関する理解増進事業について（長谷川）
12月17日に令和6年度補正予算が可決され、文科省補正予算の中に「脊柱の検査等に関する理解増進事業」0.5億円が入っている。国で数台側弯症機器を購入し脊柱の検査の意義や脊柱側弯症等の疾病への理解等が教育現場において着実に進むよう、教育行政関係者や教職員等を対象に検査機器を用いた脊柱の検査等にかかる体験会の開催や周知資料の作成等を行うとのこと。(自見はなこ事務所より)
- ・令和7年度「骨と関節の日」のテーマについて（奥村） 「勤労者のロコモ」と決定。

【日整会報告事項】

- ・関節機能改善剤「ジョイクル関節注30mg」終売に関する日整会の回答等について（神藤）
股関節注射に唯一の適応があり、生産の継続が望まれる。

5、日整会100年記念全国市民公開講座

神藤 理事

- ・実施時期 2026年11月28日(土)または29日(日) (予備日として11月23日)
- ・例年の「骨と関節の日」の活動と同様で構わないが、日整会から各大学にも声掛けされており、各都道府県COAには各地区の中心となり、大学・整形外科医会・勤務医会などと連携いただきたい。
- ・各都道府県 TV・ラジオ・新聞など広告媒体に積極的アプローチし、企業の協賛なども検討ください。

6、令和6年度第3回JCOA社会保険等検討委員会

12/11・WEB

神藤 理事

委員会決議事項：

- ・令和8年度提案書の提出スケジュール

提案書の作成者と担当責任者が綿密に連絡を取り合い、令和7年1月下旬までに令和6年度の提案書書式を用いて練習用に作成し、事務局経由で総括責任者に提出することとした。

委員会報告事項：

- ・二次性骨折予防継続管理料に関する実態調査（第2回）の実施について
金淵隆人理事は実施内容について報告するとともに、調査への回答への協力を要請した。
- ・二次性骨折予防継続管理料届出施設について
神藤理事は、各都道府県届出受理累計件数について大都市部での増加傾向が認められることを報告。
- ・JCOA 保険審査委員会議は令和7年9月6日（土）に品川プリンスホテルにて開催。全国整形外科保険審査委員会議は、令和7年9月7日（日）に東京コンファレンスセンター品川にて開催。

7、JCOA 災害医療チーム検討委員会

神藤 理事

以下についての報告。

- ・令和6年度第4回JCOADiTブロック実務委員会（九州・沖縄） 令和6年12月26日WEB
- ・第7回JCOA 災害医療チーム研修会 令和7年1月26日(日)ステーションコンファレンス東京

8、令和6年度第5回日本整形外科学会理事会

11/21・東京

神藤 理事

決議事項 第1号議案 令和6年度奨励賞選考結果及び会告案の承認の件

- [基礎研究] ・阿部健吾（大阪大学/京都大学） ・伊賀隆史（慶應義塾大学）
- [臨床研究] ・川口健悟（九州大学） ・喜多洸介（大阪大学）

報告・審議事項

- ・令和6年度第1回移植・再生医療委員会（10/29）
整形外科移植に関するガイドラインを字句統一して会員専用ホームページに掲載する。
- ・令和6年度第5回モルヒネ髄注ポンプに関する3学会合同WG（10/9）
神藤佳孝理事から令和6年度第5回モルヒネ髄注ポンプに関する3学会合同WGについて報告。
- ・日整会100年プロジェクト推進会議（オブザーバー参加：岡 直樹、歌野裕子、松岡洋介）
資料16に基づき100年のあゆみ、若手整形外科医への意識調査、ビデオライブラリー、全国一斉市民公開講座及び100周年記念式典の進捗状況について報告された。第99回日整会学術総会の領域横断的合同シンポジウムで消化器外科学会との進捗状況について報告された。

9、令和6年度第6回日本整形外科学会理事会

12/19・福岡

神藤 理事

報告・審議事項

令和6年度第3回広報・渉外委員会（11/13）

・理事会で審議した結果、日整会ホームページに掲載されている認定医のメールアドレスを掲載しないことを承諾

令和6年度第2回社会保険等委員会（11/18）

- ・「供給停止予定品目に対する承認依頼」への対応ルールについて同一成分の医薬品中の市場シェアを確認し4つの回答方法で回答することを理事会に諮ることを原案のとおり承諾した。

・「薬価再算定に関する要望書提出依頼」への対応ルールについて代替品製造メーカーの存在を確認し 3 つの回答方法で回答することを理事会で審議した結果、原案のとおり承認した。

令和 6 年度第 2 回男女共同参画委員会 (11/20) 山内かづ代理事

- ・第 5 回整形外科医になろうセミナーの収録を 2025 年 1 月 7 日に予定している。
- ・第 2 回女性医師アンケートの解析作業を進めている。
- ・RJOS を含め他国との国際交流を継続して日整会事業として検討する。

10, 令和 6 年度第 7 回日本整形外科学会理事会 1/16・東京 神藤 理事

報告・審議事項

各種委員会等報告

- ・令和 6 年度 第 2 回 安全医療推進・感染症対策委員会 (12/17)
抗菌薬供給不足に関するワーキンググループ設置の件について承諾し、活動内容をまとめ報告する。
- ・令和 6 年度 脊椎脊髄病委員会メール審議 (12/5-18)
令和 7 年度の脊椎内視鏡下手術・技術認定医の更新申請時から手術症例動画に「腰部脊柱管狭窄症」を追加することとした
- ・令和 6 年度 教育研修委員会メール審議 (12/20-12/21)
オンデマンドでの単位取得時の「一時停止 30 分以内」の制限緩和について承諾した。
- ・令和 6 年度第 2 回移植・再生医療委員会 (1/6)
整形外科領域の再生医療における日本再生医療学会との共同研究にかかる覚書き (MOU) の締結を承諾した。『整形外科領域における組織移植の現状』、『整形外科領域における再生医療実施の現状』の 2020~2024 年分の調査実施について承諾した。
- ・第 168 回 ロコモチャレンジ推進協議会 (12/18)
栄養ワーキンググループ等の活動について報告された。
- ・会員名簿の冊子体を廃止しシステム化を承諾した。

11, 令和 6 年度第 2 回 JOA 専門医・専攻医管理委員会 2/5・WEB 神藤 理事

日本整形外科学会専門医更新基準の変更が日本専門医機構より承認されたことの報告がなされた。

専門医資格更新時の eラーニング・eテストの内容について、更新は 5 年ごとであることから基本的には 5 年ごとに内容を更新する。内容については新規改定されたガイドラインから改定された点を中心に 30 分の eラーニングを 4 本 (2 時間) 受講し、各 eラーニングに対して 5 問 (計 20 問) の eテストを受け、全問正解で合格とする。

12, JCOA 医療安全委員会報告 1/30・WEB 片岡 理事

1. 判例の冊子のレイアウト、内容を確認した。
2. 帯状疱疹ワクチンアンケートの結果について、JCOA 三重に演題応募することが承認された。

13, 令和 6 年度第 3 回 JCOA 運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会

12/8・東京 吉村 理事

委員会決議事項：

1. 第 38 回 JCOA 学術集会（三重）のシンポジウムについて

（1）テーマ：整形外科診療所における介護リハビリテーションの現状と工夫

（2）座長：大瀬戸政司理事、吉村弘治委員長

（3）演者：講演①：田口学副委員長 「通所リハビリテーション参入からの推移」

講演②：白川泰山委員 「通所リハビリテーションの運営と現状」

講演③：松原三郎副理事長 「訪問リハビリテーションの現状と工夫」

2. 令和 6・7 年度理事長諮問事項について

・ 医業経営委員会にて決定した令和 8 年度診療報酬改定要望項目について報告があり、本委員会担当の要望項目の医療技術評価提案書（以下「提案書」という。）作成の担当者を決定した。

① 急性増悪の定義の変更：田口学副委員長 ② 早期加算の適応疾患拡大：白川泰山委員

③ ロコモ度テストを評価に加える：吉村弘治委員長

1 4, 令和 6 年度第 6 回 JCOA 医療システム委員会 2/9・東京

宮崎 副会長

【協議・検討事項】

1. 小冊子「鍼灸院ってどんなところ」（吉田政史委員長作成）について

・ 医師が施術同意書を書かない理由 3 に関して、“同意した医師は、はり・きゅうの施術結果に対して責任を負うものではないと厚労省はしていますが、そのような無責任なことはできません”を“同意した医師は、はり、きゅう、の施術結果に対して責任を負うものではないと厚労省はしていますが、道義的責任、民事上の責任は免れないと思われます”等への変更を検討することとした。

・ 往療を健康保険で使える条件で、②“患家”を“患者”に変更することとした。

2. 「医師のための保険診療基礎知識～医業類似行為 Q&A」（2019 年に発行）改定について

当委員会にて記載内容の改訂作業を開始することを確認し、作業終了後、日整会広報・渉外委員会より日整会の理事会に上程していただく方針とした。

3. JOA 広報渉外委員会委員選出

令和 7, 8 年度の委員として、宮崎浩副委員長（2 期目）に加え、3 名を JCOA より推薦する。

4. 医業類似行為に係る健康被害等報告

（1）宮崎浩副委員長が令和 6 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの健康被害実態調査の結果を作成し、理事長に上申することとなった。

（2）「医業類似行為に係る健康被害等の報告」は JCOA ウェブサイトの判り易い場所に掲示する。

1 5, 令和 6 年度 JCOA 医療システム委員会・JOA 広報渉外委員会合同委員会

2/9・東京 宮崎 副会長

【報告事項】

・ 第 11 回あはき師及び柔道整復師等の広告に関する検討会議事録（7/12）

整骨院の名称に関してはガイドラインには記載しない形ですすめる。

・ あはき・柔整復広告ガイドラインに対するパブリックコメント

厚労省から募集があり、医療システム委員会からも複数の意見を提出した。

・令和6年度JCOAシンポジウム 令和6年11月10日(日) 11:00~16:00 品川プリンスホテル
テーマ:「柔整問題の過去と将来、JCOAの進むべき道を考える」

基調講演1「JCOA医療システム委員会の歴史と向後の活動について」(JCOA) 相原 忠彦

基調講演2「あはき柔整の最近の動向」(日医) 江澤 和彦 先生

柔整療養費 2011年 4085億円 → 2021年 2867億円

明細書の発行の義務化はレセコン使用施設で常勤3名以上の規定がなくなった

患者ごとに償還払いに変更できる

シンポジウム1、「療養費検討専門委員会から」JCOA医療システム委員会委員 松本 光司

シンポジウム2、「医科併給に関して」トピー健康保険組合常務理事 原 直人 先生

医科併給に当たり関東信越厚生局は、消炎鎮痛等処置が算定されていないと療養の給付として重複しているとした事実は確認できない、とし、柔整療養費の支給を認めた。

【協議、検討事項】

・第97回JOA学術集会デジタルポスター

「当院における医接連携の試み -地域中核病院と接骨院・整骨院-」朝日大病院整形外科

変性疾患は施術対象にはならず、医科の管理下である場合、療養費の支給対象とはならない。

座長に内容を確認した上で学術集会委員会に広報渉外委員会から文書による注意喚起を行う。

16, 令和6年度第5回JCOA学術委員会

11/6・WEB

堀口 副会長

委員会決議事項:

1. JCOAから第99回日整会学術総会でのパネル・教育研修講演演題の決定と申込み

(1) 本委員会から、医療システム委員会、SLOC連携委員会、学校保健委員会、災害医療チーム検討委員会、自賠・労災委員会に対してシンポジウム案の提出を依頼したところ、次のとおり提案された。

① 運動器検診 -10年を経過して(学校保健委員会)

② 知っておくべき接骨院、あんま、鍼灸問題 Q&A -日常診療での対処法(医療システム委員会)

③ 自賠責診療費算定基準案(新基準)について(自賠・労災委員会)

(2) (1)に加え、本委員会内で提案したシンポジウムについて協議を行った結果、次の6題のシンポジウムを提案することとした。

① 整形外科医はリウマチ医では無いのか? ② 慢性腰痛症治療のコストベネフィット

③ 「薬剤関連顎骨壊死ポジションペーパー2023」による骨粗鬆症治療のパラダイムシフト

④ 知っておくべき接骨院、あんま、鍼灸問題 Q&A -日常診療での対処法

⑤ 運動器検診 -10年を経過して ⑥ 自賠責診療費算定基準案(新基準)について

2. 学術集会開催期間中の託児所設営について託児所の設置について照会があった。

・本委員会から、第38回JCOA学術集会(三重)に対して前向きな検討を要請することとした。

・附帯意見 ・日整会が主催する3学会ではすでに「託児室」の設置が行われている。

・託児所を設営する場合は、学術集会ウェブサイト及び抄録にその旨を告知する。

17, 令和6年度第6回JCOA学術委員会

12/17・WEB

堀口 副会長

理事会審議付帯事項：

JCOA 学術集会に関する会員アンケートの実施について（OCOА では clubOCOА メールを利用）

「学術集会の内容の充実を図る」の検討に会員に対して学術集会に関するアンケートを実施する。

有益で参加しやすい環境を整えることがますます重要と考え、会員が JCOA 学術集会にどのように参加されているのか、その動機や課題、そして今後の改善点について調査する。特に、学術集会に会員が参加されない原因や会員の要望を抽出し、今後の参考にしたい。

18、OCOА 広報委員会

調子 理事

今年度の会報誌編集の進捗状況について（原稿の締め切りは4月末を予定）

大阪臨床整形外科医会会報51号目次（）内は執筆者

- ① 巻頭言 貴島 浩二 会長
- ② 追悼文 越智先生（早石先生） 山野先生（大阪公大で）
- ③ 第37回日本臨床整形外科学会学術集会（熊本）7月14日～7月15日（調子和則）
- ④ 第50回研修会報告（京都）10月13日～10月14日（山本 哲）
- ⑤ OCOА 研修会報告
- ⑥ 単位申請状況
- ⑦ OCOА 活動報告・ロコモ健康フォーラム（木下 裕介） ・6年度療法士会報告（中川 浩彰）
・トライアスロン大会、大阪マラソン（大窪 博） ・各務文献法要（中野 晋吾）
- ⑧ 厚生部報告 テニス部例会活動（岸本 成人） ゴルフコンペ報告（宮崎 浩）
- ⑨ 会員投稿 医学史探訪⑨（今井 秀）、56年後に再訪問した Sri Lanka で感じたこと（黒田 晃司）
- ⑩ 編集便り

19、OCOА HP 管理委員会

2/4・WEB

宮口 理事

バナー広告に関して

- ・現在6枠すべて契約・掲載中。
- ・2月に次年度の契約更新の意思確認書をメールで送付しているが、在宅医療事務協会から契約更新辞退の申し出があった。残り5社に関しては、請求書をメールにて送付を行った。
- ・1枠空きがでたため広告主を募集中である。

20、第68回大阪整形外科セミナー

山口 理事

2025年3月8日 TKP 大阪淀屋橋カンファレンスセンター

・一般講演 座長 大阪みなと中央病院 整形外科部長 今村 史明 先生

「多発肋骨骨折術後肺炎発症に関与する因子について」

堺市立総合医療センター 大野 一幸 先生

「小児の大腿骨頭下に発生した軟骨粘液繊維種の症例」

大阪市立総合医療センター 赤羽 葵 先生

「上肢感電による肩甲骨骨折の症例」 大阪赤十字病院 中村 賢司 先生

・特別講演 座長 おおさかグローバル整形外科病院 院長 藤尾 圭司 先生

「脊柱変形矯正手術の現状と課題」 京都大学医学部附属病院整形外科准教授 大槻 文悟 先生

20、令和6年度第5回総務委員会 2/8 東京・WEB 邊見理事

委員会決議事項

1. JCOA 会報第 34 号について
 - (1) 第 37 回 JCOA 学術集会（熊本）の特集号である。不鮮明な写真や欠落している写真が多数あるが、当初の予定どおり 3 月発行予定とする。
2. JCOA ニュース第 200 号を記念し、歴代委員長の担当年を別表として掲載する。
3. 「骨と関節の日」について
 - 1) 令和 6 年度「骨と関節の日」各都道府県のポスター・チラシ、行事の審査について
 - a) ポスター・チラシの部 最優秀賞 沖縄県
優秀賞 広島県、福岡県、岩手県、大阪府、山口県
 - b) 骨と関節に関して行った行事の部 優秀賞 広島県、沖縄県、岩手県
 - 2) 令和 7 年度「骨と関節の日」テーマについて「勤労者のロコモ」に決まったことが報告。
4. 各種委員会年次報告書及び理事長諮問事項に対する中間報告
「会員数増加に対する具体的な対策の検討」については邊見副委員長が作成することとした。
5. 骨粗鬆症検診について、委員会での調査活動は終了とした。

委員会報告事項

- ・ JCOA 会報第 35 号（京都）は令和 7 年 7 月発行予定である。
- ・ 各都道府県におけるリクルート状況について。
会員の減少の主たる要因として、整形外科開業医の高齢化、死亡退会である。新規開業者も減少しており、医師会入会の縛りや経営形態の多様化なども原因となっている。

21、OCOA 各種委員会報告（主なものを抜粋）

- ・ 福利厚生委員会 委員長 片岡 英一郎
ゴルフコンペ 2026 年春季 6 月 15 日 秋津原 GC の予定（申し込み <https://x.gd/mtH25>）
- ・ 学術委員会 委員長 片岡 英一郎
 1. 研修会を行い、単位取得の JOINTS への意向もスムーズであった。
 2. 帯状疱疹ワクチンの会員アンケートを行い、71 名から回答を得た。
- ・ 大阪マラソン委員会 委員長 大窪 浩
2025 大阪トライアスロン 5 月 25 日 OCOA より救護医師 1 名派遣（未定）
- ・ 地域情報委員会 委員長 調子 和則
フレイル検診の広報活動について検討、パンフレットを配布、3 枚目は切り離し渡すこと
- ・ リクルート委員会 委員長 邊見 俊一
令和 6 年度も労災・府医の新規開業リストや、大学からの新規開業者情報 から各大学別の非会員開業医を抽出し未加入者リストを作成し、入会勧誘を進めてきた。今後も会員の死亡や高齢化と新規開業者減少に伴う会員数の減少が予想される。また、医師会加入者が減少傾向にあるため、医師会入会のメリット（骨粗鬆症検診など）をアピールしていく必要がある。今後も懇親会等を利用し積極

的にリクルート活動をおこなっていきたい。

22、その他

貴島 会長

OCOA 継承委員会 宮田理事

- ・継承での開業は新規開業より初期経費が少なく、当初の受診患者数が確保されメリットが大きい。
- ・勤務医に OCOA 会員になっていただき、希望開業地などを出して登録していただきリストを作成。
一方、診療所継承者を探しておられる OCOA 会員も登録いただき、リストを作成。
上記のマッチングを割安な手数料で行い、契約などは顧問弁護士を介してトラブルを防ぐ。

この議事録は、

定款第 40 条の規定に従い、代表理事及び出席監事が記名、押印する。

令和 7 年 3 月 1 日

一般社団法人大阪臨床整形外科医会

議長 会長

貴島 浩二



監事

黒田 晃司



監事

栗本 一孝

